和寒町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

和寒町の公共交通は、JR線及び民間バス1路線を中心に、市街地と農村集落間の公共交通機関を町営バスで確保しています。高齢者や小中学生の移動手段として生活にかかせないものですが、人口減少により利用者は減少し、交通空白地帯の解消や空車便対策など利便性の向上や効率性の確保が求められていました。こうした問題解消のため、デマンド運行の実証実験を経て平成26年からは本格運行を開始しており、今後も住民の生活交通手段として確立していくとともに、都市間移動を含めた交通ネットワークの形成を図る必要があります。

地域公共交通の現況

・JR宗谷線（和寒駅、塩狩駅）
・道北バス（株）1路線（名寄線）
・町営バス4路線（東和線、福原線、中和線、北原線）
・士別ハイヤー

生活交通確保維持改善計画の目標

市街地区を除く地域人口1人当たりの年間利用回数（申請年度の4/1現在の人口）
目標：2.2回/年（R1.10～R2.9）
（R1年4月 地域人口875人　利用者数1,900人）
参考：2.1回/年（H29.10～H30.9）
（H29年4月 地域人口953人　利用者数2,036人）
2.1回/年（H28.10～H29.9）
（H28年4月 地域人口1,006人 利用者数2,157人）

協議会開催状況

【令和2年7月6日（書面開催）】
地域内フィーダー系統確保維持計画について 他
【令和3年1月19日（書面開催）】
地域公共交通確保維持改善事業の評価について

令和２年度事業概要

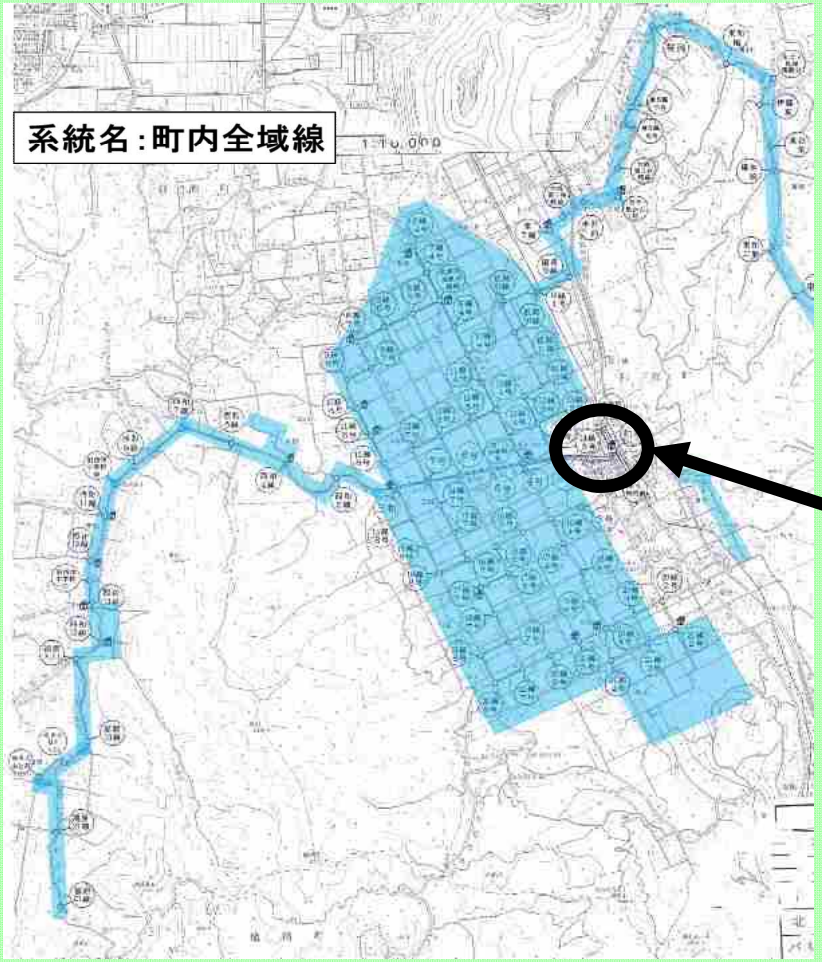
町内全域線デマンドバス運行
運行事業者：和寒町
運送の区分：市街地停留所ー運行区域（郊外地）
運行本数等：1日3便（10:00、12:00、17:00）

令和２年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

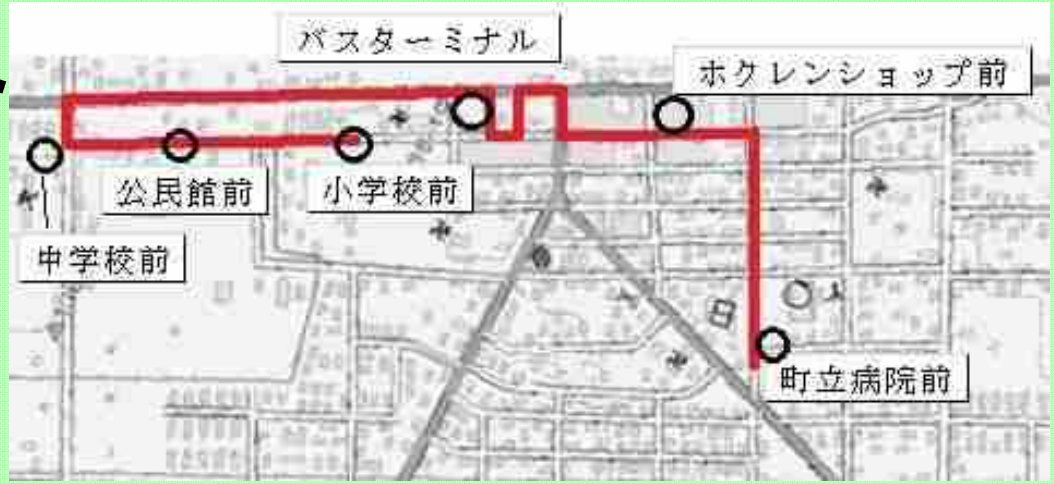
・平成25年にバス路線自治会長、関係団体、事業者により地域公共交通連絡会議を組織し、デマンド運行の検討を経てモデル路線により実証実験を実施
・平成26年4月に4路線での実証実験を行い、10月から本格運行を開始し、デマンド対応するためワゴン車両導入

２）運行系統

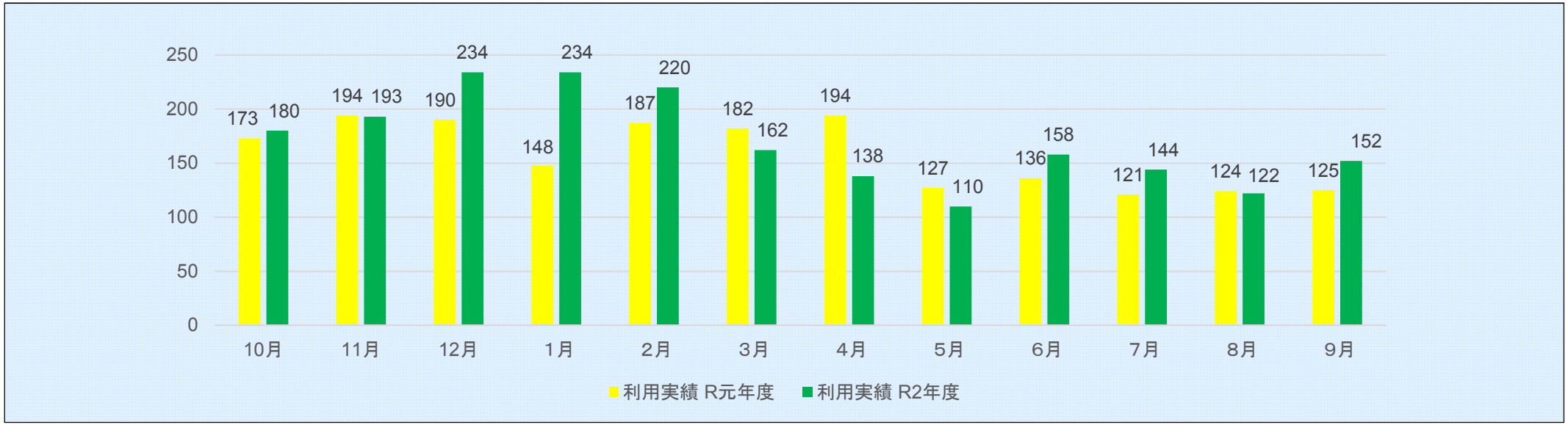


Ｈ２６．１０導入ワゴン車輌

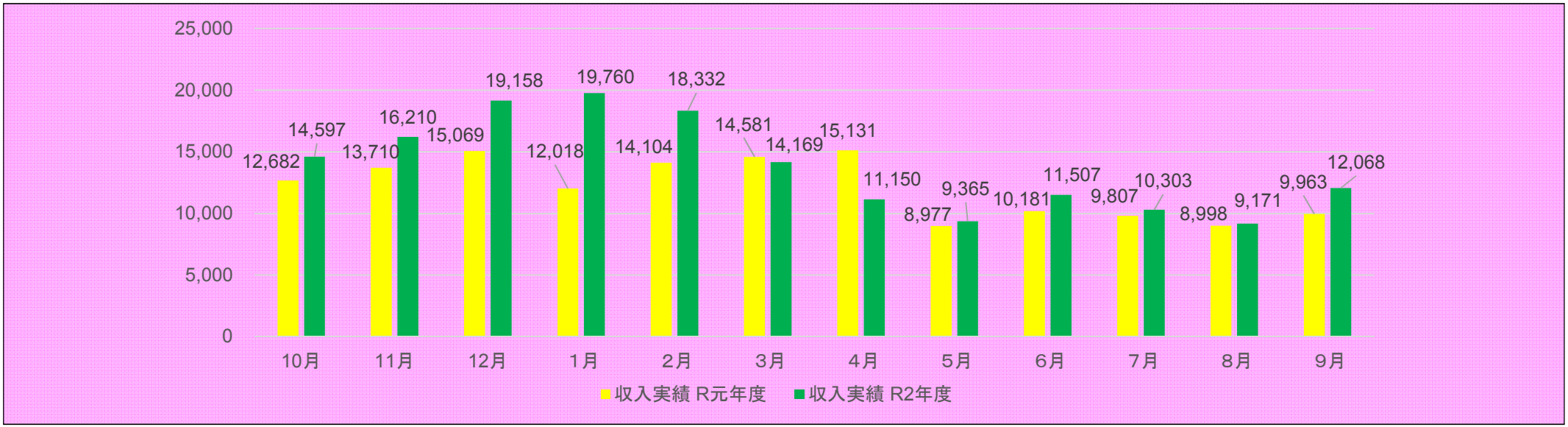
系統名：町内全域線（市街地乗降場所）



３）利用実績


250
200
150
100
50
0
173 180
194 193
190 234
148 234
187 220
182 162
194 138
127 110
136 158
121 144
124 122
125 152
10月
11月
12月
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
利用実績 R元年度
利用実績 R2年度

４）収入実績


25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
12,682 14,597
13,710 16,210
15,069 19,158
12,018 19,760
14,104 18,332
14,581 14,169
15,131 11,150
8,977 9,365
10,181 11,507
9,807 10,303
8,998 9,171
9,963 12,068
10月
11月
12月
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
収入実績 R元年度
収入実績 R2年度

5）事業実施の適切性

事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施されている

6）目標・効果達成状況

高齢者の通院にかかる利用が増加したことなどにより、地域人口１人当たりの利用回数は目標2．2回に対して、2．3回と若干上回った。

目標：2.2回/年（R1.10～R2.9）
（R1年4月 地域人口875人　利用者数1,900人）
実績：2.3回/年（R1.10～R2.9）
（R1年4月 地域人口875人　利用者数2,047人）

7）事業の今後の改善点

今後も利用者の意見等を把握しながら、郊外地の高齢者や通学などの日常生活に不可欠な移動手段の確保に努め、農村集落の維持を進める。

8）地方運輸局における二次評価結果

（令和3年度分と併せて評価）